



家畜保健衛生所だより

R7.10.3

群馬県桐生市で豚熱（CSF）が発生 （国内 100 例目、群馬県 14 例目）

10月2日、群馬県桐生市の養豚農場においてCSFの患畜が確認されました。群馬県の養豚場では5月9日の前橋市での発生に続き、14例目となります。

【発生農場の概要】

- ・ 農場所在地 群馬県桐生市
- ・ 飼養頭数 約5,900頭
- ・ 経緯 10月1日:農場から離乳豚に異状がみられるとの通報があり検査実施。
CSFの疑いが生じたため国※による精密検査を実施。
10月2日:患畜決定（精密検査陽性）。 ※農研機構動物衛生研究部門

お知らせしているとおり、中予管内でもCSF感染イノシシが確認されています。

実りの秋を迎え、イノシシが果樹や農作物に誘引されるほか、秋から冬にかけては交尾のため行動範囲が広がることから、CSF感染イノシシが農場周辺に出没する可能性が高まります。以下について改めてお願いします。

1 野生動物対策

- 防護柵・防鳥ネットの点検
- 畜舎周囲の清掃、整理・整頓
- 飼料保管場所等へのねずみ等の野生動物の排泄物等の混入防止

2 人・物・車両によるウイルスの持ち込みの防止

- 衛生管理区域、畜舎への出入りの際の洗浄・消毒の徹底
- 衛生管理区域専用及び畜舎の衣服、靴の設置と使用の徹底
- 人・物の出入りの記録

3 早期発見・早期通報の徹底

CSFは、特徴的な症状がなく、気がつきにくい疾病です。

発熱、食欲不振、元気消失、うずくまり、便秘に続く下痢、呼吸障害等の異状がないか、毎日確認し、異状がみられた場合には、すぐに下記までご連絡ください。

中予家畜保健衛生所

電話 089-990-1333

携帯 090-6282-6129（夜間・休日）